

平成 20 年度
暴力団の不当要求等介入事例実態調査事業
報 告 書

平成 21 年 3 月

環境省大臣官房 廃棄物・リサイクル対策部
産業廃棄物課

目 次

1. 調査の概要

1-1. 調査の目的	2
1-2. 調査の内容	2
1-3. 調査の設計	2
1-4. 回収結果	3
1-5. 集計にあたって	3

2. アンケート調査の結果

2-1. 回答者の属性	
(1) 産業廃棄物処理業の許可種別	6
(2) 組織の形態	6
(3) 組織の規模	7
(4) 所在地	7
(5) 都道府県産業廃棄物協会への加入の有無	8
2-2. 欠格要件及び反社会的勢力による被害を防止するための指針の認知度	
(1) 欠格要件の認知度	9
(2) 反社会的勢力による被害を防止するための指針の認知度	9
(3) 反社会的勢力による被害を防止するための指針の受け止め方	10
2-3. 暴力団等反社会的勢力からの不当要求	
(1) 暴力団等反社会的勢力からの不当要求の有無	11
(2) 暴力団等反社会的勢力からの不当要求の詳細	11
2-4. 暴力団等の反社会的勢力対策の取組	
(1) 暴力団等反社会的勢力への取組の有無	16
(2) 暴力団等反社会的勢力対策の取組内容	17
2-5. 廃棄物の不適正処理	
(1) 廃棄物の不適正処理を行っている廃棄物処理業者等	17
(2) 廃棄物の不適正処理の内容	18
(3) 廃棄物の不適正処理と暴力団等反社会的勢力との関わり	18

1. 調査の概要

1-1. 調査の目的

本調査の目的は、近年、暴力団は組織実態を隠蔽する動きを強めるとともに、活動形態において企業活動を装ったり、政治活動や社会運動を標榜するなど、さらに行為の不透明化が進んでいるところである。

そのような中で、平成 18 年 7 月、政府に設置された暴力団資金源等総合対策ワーキングチーム（現暴力団取締り等総合対策ワーキングチーム）により、「企業が反社会的勢力による被害を防止するための指針」が取りまとめられ、平成 19 年 6 月には同指針が犯罪対策閣僚会議において報告・了承された。

これを機に環境省としても全国の産業廃棄物処理業者に同指針を普及啓発するとともに、産業廃棄物処理業界への暴力団の介入排除に努め、最終的にはクリーンな産業廃棄物処理業界の構築を目的に、まずは産業廃棄物処理業界への不当要求等の実態を調査するとともに、その個別事例を収集するものである。

1-2. 調査の内容

【選択式】

- ◆ 回答者の属性について
 - 産業廃棄物処理業の許可種別、組織形態、規模（従業員数）、所在地（都道府県）、産業廃棄物協会加入の有無
- ◆ 欠格要件及び反社会的勢力による被害を防止するための指針の認知度について
- ◆ 暴力団等の反社会的勢力からの不当要求について
- ◆ 暴力団等の反社会的勢力対策の取組について
- ◆ 廃棄物の不適正処理について

【記述式】

- ◆ 今までに暴力団等反社会的勢力からの不当要求があった際の具体的な内容
- ◆ 廃棄物の不適正処理に暴力団等反社会的勢力が関わっていることについての具体的な内容

1-3. 調査の設計

- ◆ 調査地域 全国
- ◆ 調査対象 産業廃棄物処理業者（許可業者）
- ◆ 標本数 4,700 サンプル
- ◆ 抽出方法 全国の各 47 都道府県から 100 サンプルを選定
- ◆ 調査方法 郵送による配布及び回収
- ◆ 調査期間 平成 20 年 12 月 1 日（月）～12 月 25 日（木）

1-4. 回収結果

発 送 数	4,700 件
不明戻り	75 件
回 収 数	1,872 票
無効票数	22 票
有効回収数 (N)	1,850 票
有効回収率	39.4 %

1-5. 集計にあたって

- ◆ 単数回答の設問について、回答者割合の%値は小数点第 2 位を四捨五入してあるので、合計が 100.0%にならない場合がある。
- ◆ 「N」は有効回答者数を示し、「n」は該当者の回答者数を示している。

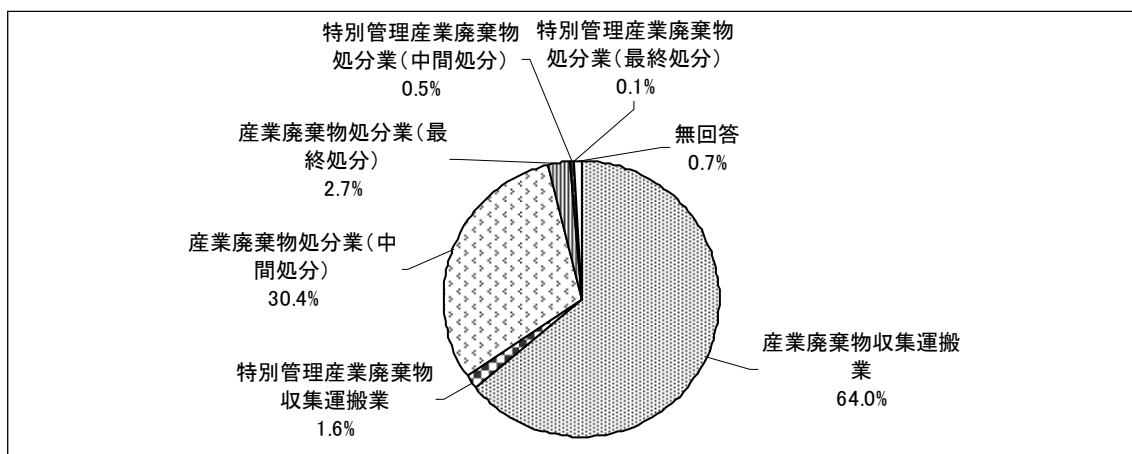
2. アンケート調査の結果

2-1. 回答者の属性

(1) 産業廃棄物処理業の許可種別

全ての回答者に、取得している産業廃棄物処理業の許可種別について尋ねたところ（複数の許可種別を取得している場合は主たるものを1つ）、「産業廃棄物収集運搬業」が64%、続いて「産業廃棄物処分業（中間処分）」が約3割を占めている。

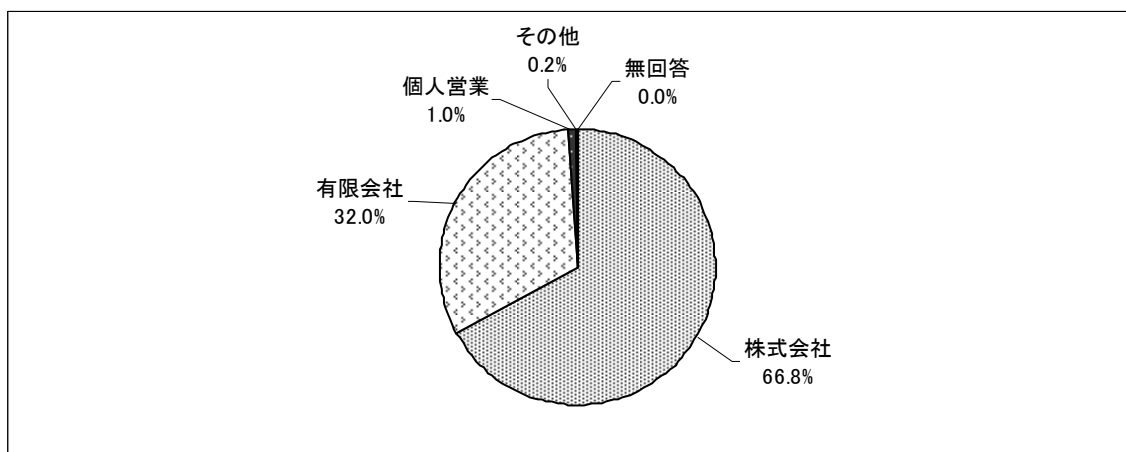
N=1850、有効回答率 99.3%



(2) 組織の形態

全ての回答者に組織の形態について尋ねたところ、「株式会社」が約67%、続いて「有限会社」が32%であり、大半を法人が占めている。

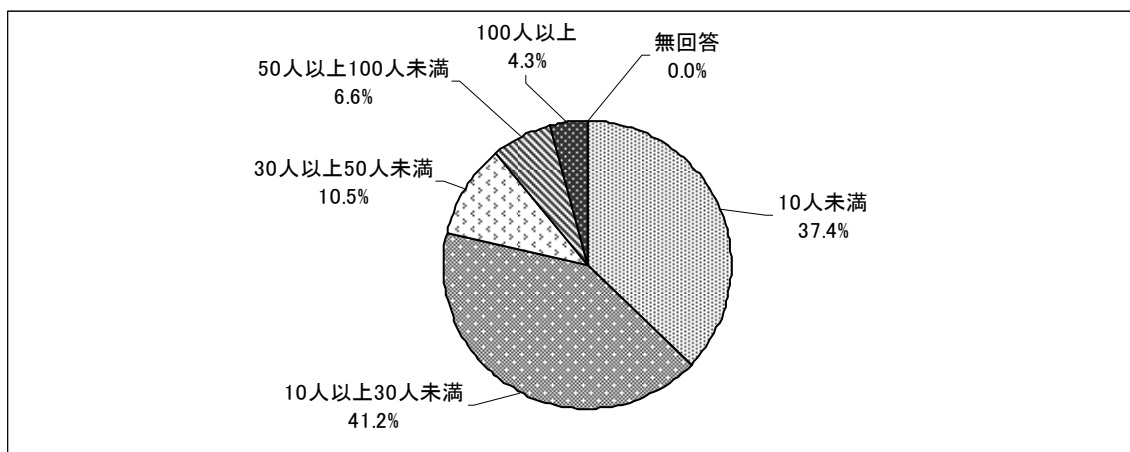
N=1850、有効回答率 100.0%



(3) 組織の規模

全ての回答者に、組織の規模（従業員・役員等も含む常勤者数）について尋ねたところ、「10人以上30人未満」が約41%、続いて「10人未満」が約37%であり、30人未満の組織が8割近くを占めている。

N=1850、有効回答率 100.0%



(4) 所在地

全ての回答者に所在地（都道府県）について尋ねたところ、都道府県ごとに100件抽出した標本数の中から25~56件の回答を得ている。山形県、岩手県、福井県、滋賀県は50%以上の回収率となっており、茨城県、熊本県、栃木県は30%未満となっている。

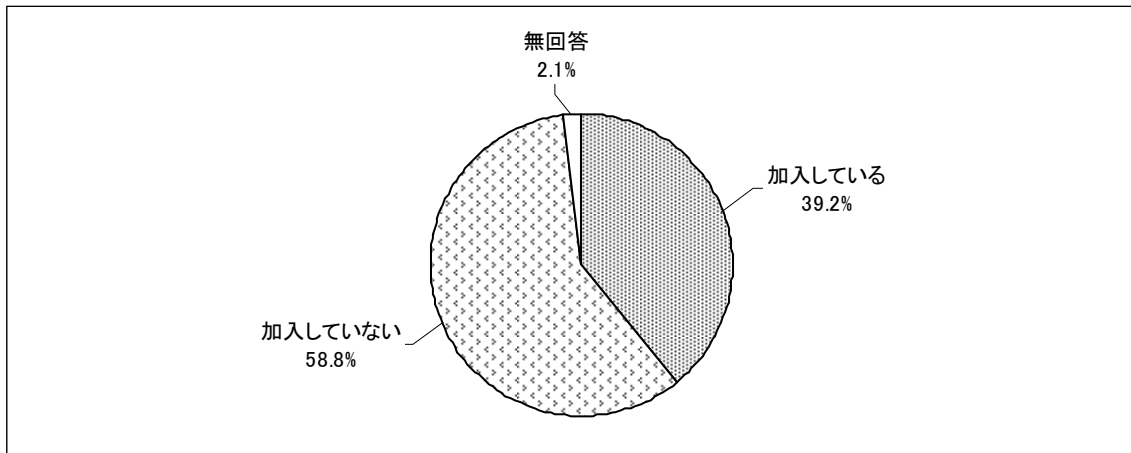
N=1850、有効回答率 99.3%

No.	都道府県	回収数	割合 (%)	No.	都道府県	回収数	割合 (%)	No.	都道府県	回収数	割合 (%)
1	北海道	40	2.2	17	長野県	46	2.5	33	岡山県	30	1.6
2	青森県	49	2.6	18	静岡県	44	2.4	34	広島県	42	2.3
3	岩手県	55	3.0	19	富山県	41	2.2	35	山口県	40	2.2
4	宮城県	44	2.4	20	石川県	46	2.5	36	徳島県	31	1.7
5	秋田県	49	2.6	21	福井県	51	2.8	37	香川県	32	1.7
6	山形県	56	3.0	22	岐阜県	44	2.4	38	愛媛県	32	1.7
7	福島県	32	1.7	23	愛知県	44	2.4	39	高知県	41	2.2
8	茨城県	25	1.4	24	三重県	36	1.9	40	福岡県	42	2.3
9	栃木県	29	1.6	25	滋賀県	50	2.7	41	佐賀県	46	2.5
10	群馬県	30	1.6	26	京都府	30	1.6	42	長崎県	37	2.0
11	埼玉県	36	1.9	27	大阪府	32	1.7	43	熊本県	25	1.4
12	千葉県	37	2.0	28	兵庫県	38	2.1	44	大分県	31	1.7
13	東京都	41	2.2	29	奈良県	32	1.7	45	宮崎県	36	1.9
14	神奈川県	43	2.3	30	和歌山県	41	2.2	46	鹿児島県	39	2.1
15	新潟県	47	2.5	31	鳥取県	30	1.6	47	沖縄県	35	1.9
16	山梨県	46	2.5	32	島根県	34	1.8		無回答	13	0.7
									合計	1,850	100.0

(5) 都道府県産業廃棄物協会への加入の有無

全ての回答者に、都道府県産業廃棄物協会に加入しているかを尋ねたところ、「加入していない」が6割近くを占めており、「加入している」が4割弱となっている。

N=1850、有効回答率 97.9%

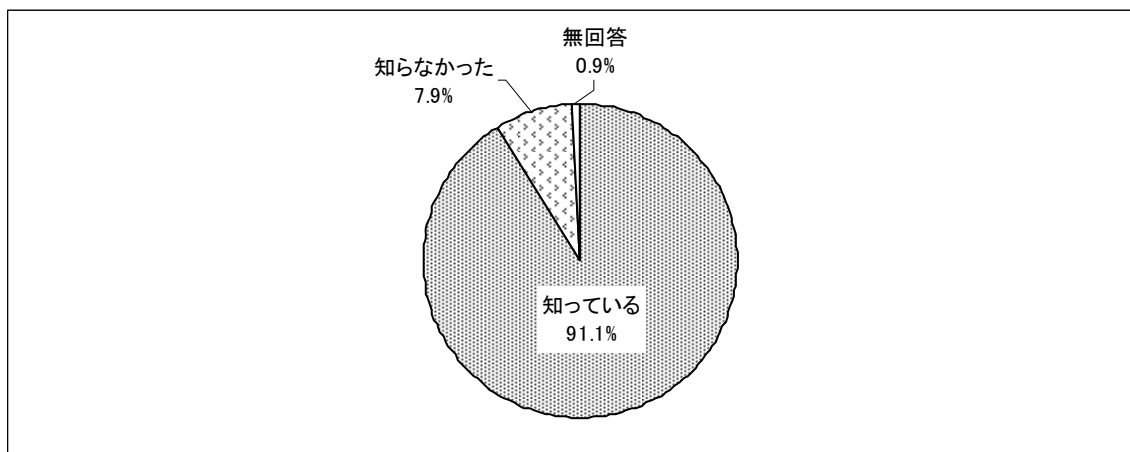


2-2. 欠格要件及び反社会的勢力による被害を防止するための指針の認知度

(1) 欠格要件の認知度

全ての回答者に「廃棄物の処理及び清掃に関する法律第14条」で規定している欠格要件である、「役員が暴力団員、暴力団員が事業活動を支配する者等は、産業廃棄物処理業の許可を取得できない。」を知っているかを尋ねたところ、「知っている」との回答が9割以上を占めている。

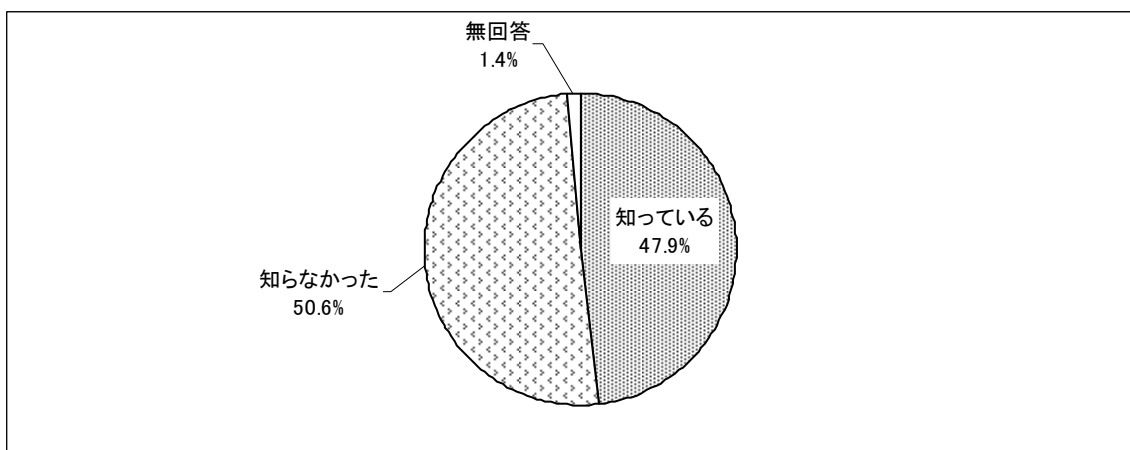
N=1850、有効回答率 99.1%



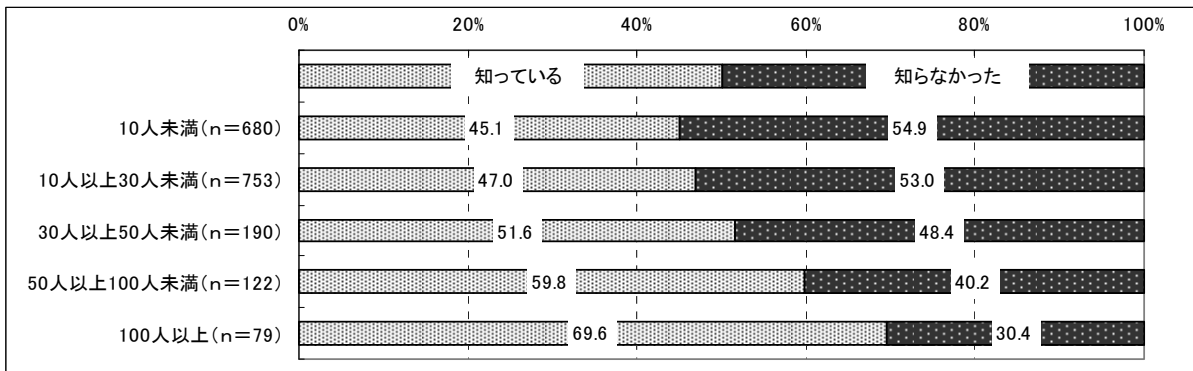
(2) 反社会勢力による被害を防止するための指針の認知度

全ての回答者に「企業が反社会的勢力による被害を防止するための指針」を政府が策定したことを知っているかを尋ねたところ、「知らなかった」との回答が約半数を占めている。

N=1850、有効回答率 98.6%



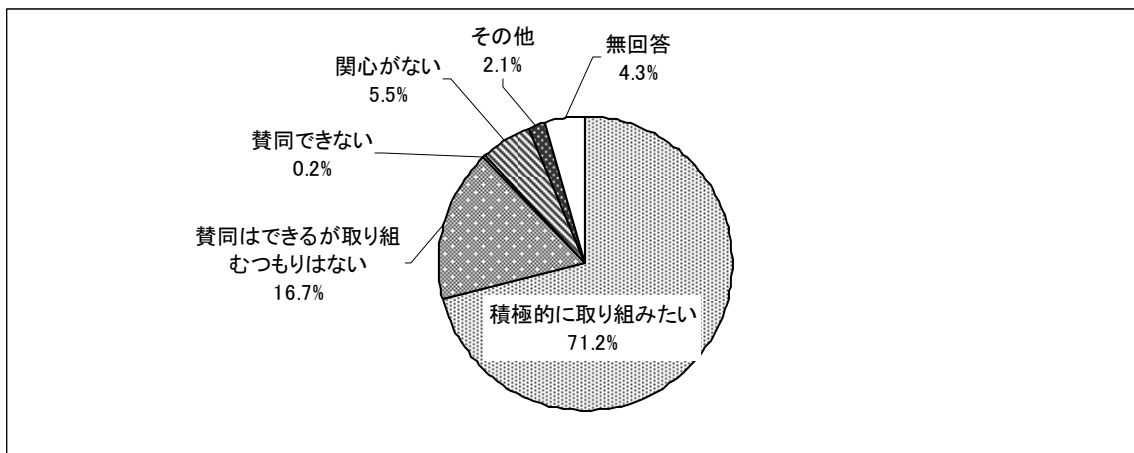
前記の設問について、回答者の組織の規模別に見てみると、従業員数が多い企業ほど「知っている」との回答が多くを占める傾向が見られる。



(3) 反社会勢力による被害を防止するための指針の受け止め方

全ての回答者に「企業が反社会的勢力による被害を防止するための指針」の概要を見てどのように受け止めるかを尋ねたところ、「積極的に取り組みたい」が7割以上となっており、「賛同はできるが取り組むつもりはない」までを含めると9割近くを占めている。

N=1850、有効回答率 95.7%

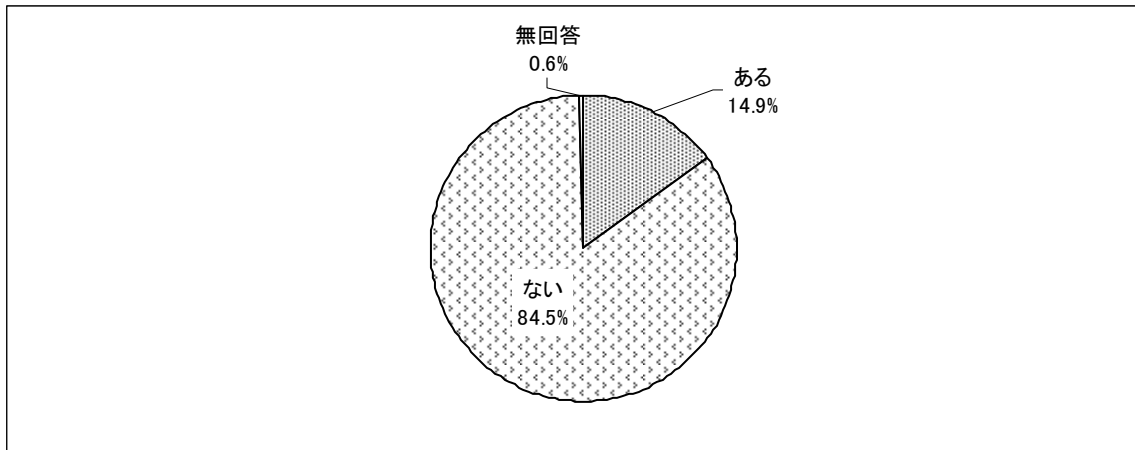


2-3. 暴力団等反社会的勢力からの不当要求

(1) 暴力団等反社会的勢力からの不当要求の有無

全ての回答者に暴力団等の反社会的勢力から不当要求を受けたことがあるかを尋ねたところ、「ある」との回答が約15%を占めている。

N=1850、有効回答率 99.4%

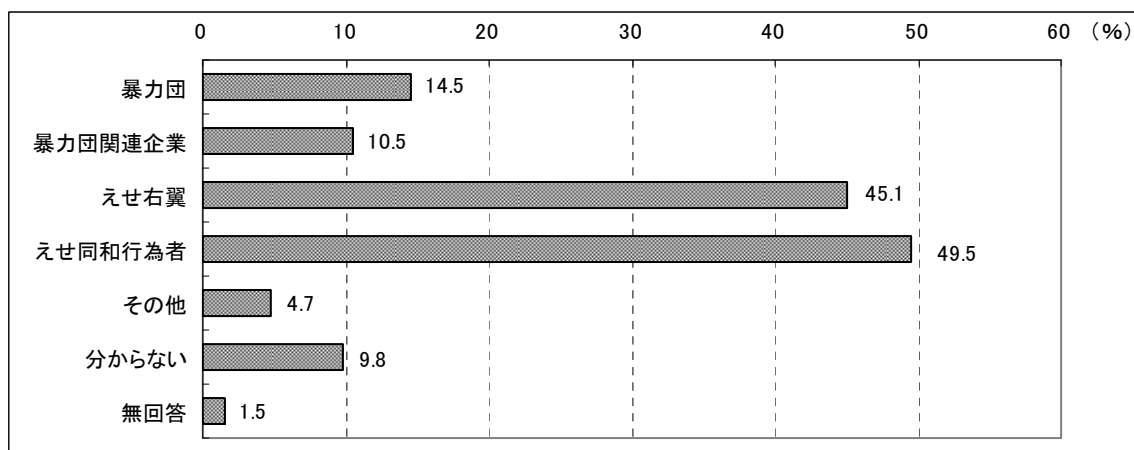


(2) 暴力団等反社会的勢力からの不当要求の詳細

① 不当要求を行ってきた者の身分

「不当要求を受けたことがある」との回答者に、不当要求を行ってきた者の身分を尋ねたところ、「えせ同和行為者」「えせ右翼」が最も多い。

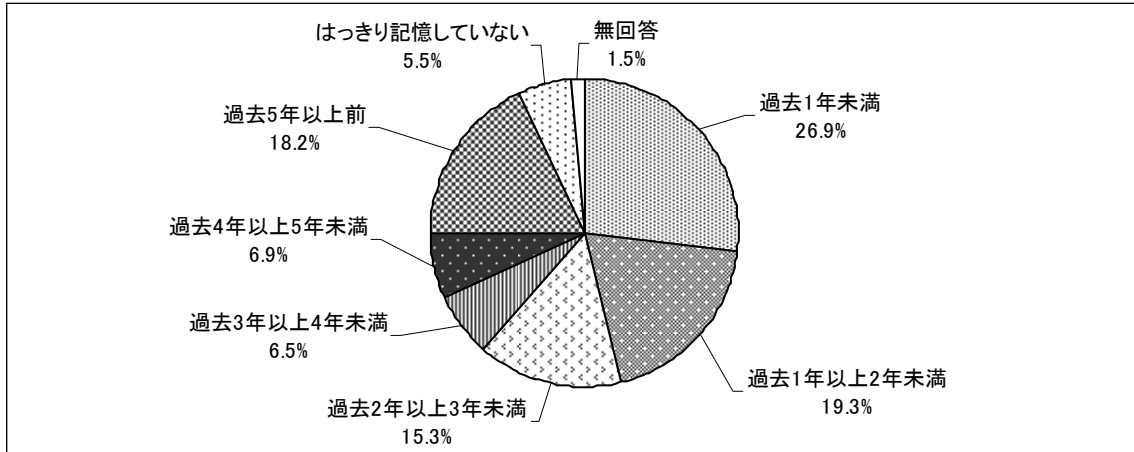
複数回答、n=275、有効回答率 98.5%



②不当要求があった時期

「不当要求を受けたことがある」との回答者に、不当要求があった時期（直近）について尋ねたところ、「過去1年未満」との回答が約27%を占めている。

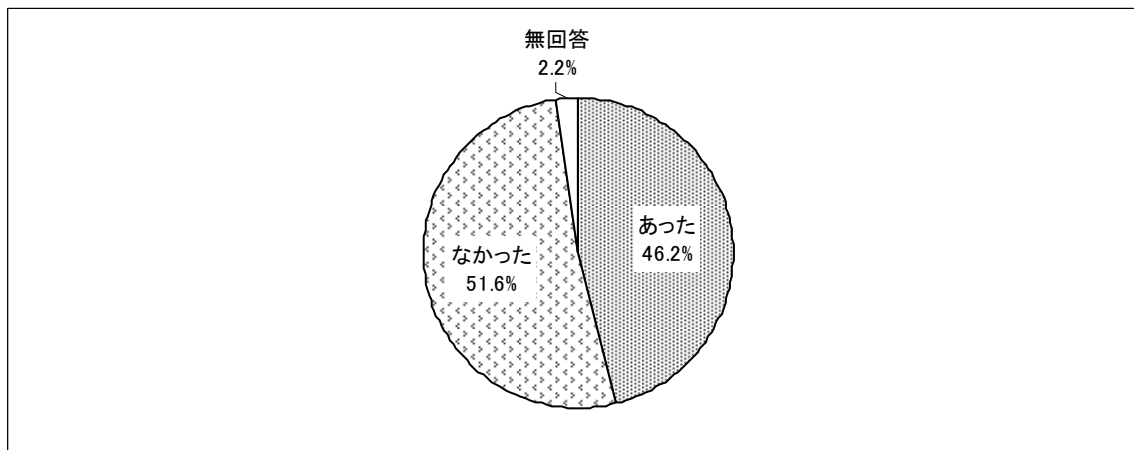
n=275、有効回答率 98.5%



③不当要求を受けた際の嫌がらせの有無

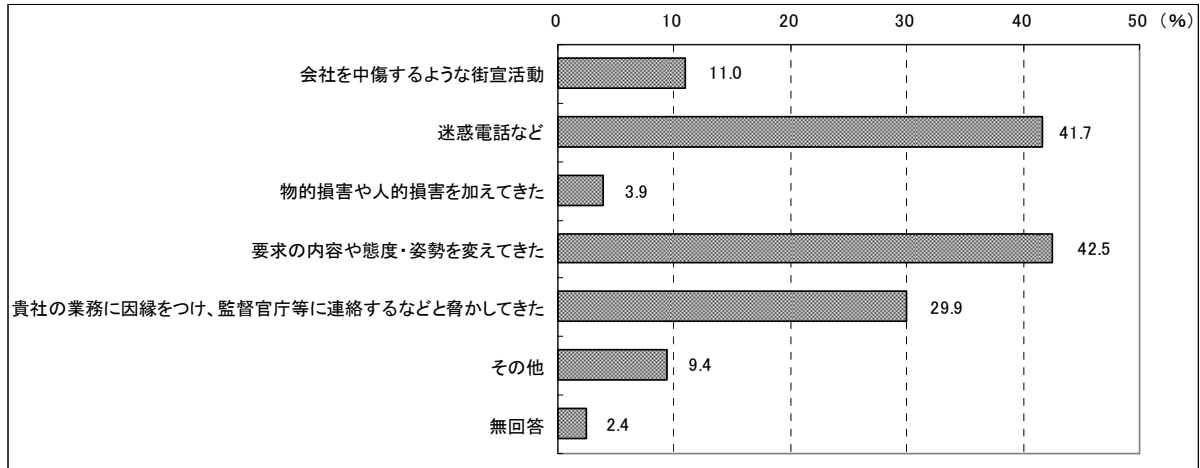
「不当要求を受けたことがある」との回答者に、不当要求を受けた際に何らかの「嫌がらせ」があったかどうかを尋ねたところ、「あった」との回答が約46%を占めている。

n=275、有効回答率 97.8%



前記の設問で、「不当要求を受けた際に何らかの嫌がらせがあった」との回答者に、具体的にどのような嫌がらせだったかを尋ねたところ、「要求の内容や態度・姿勢を変えてきた」「迷惑電話など」が多くを占めている。

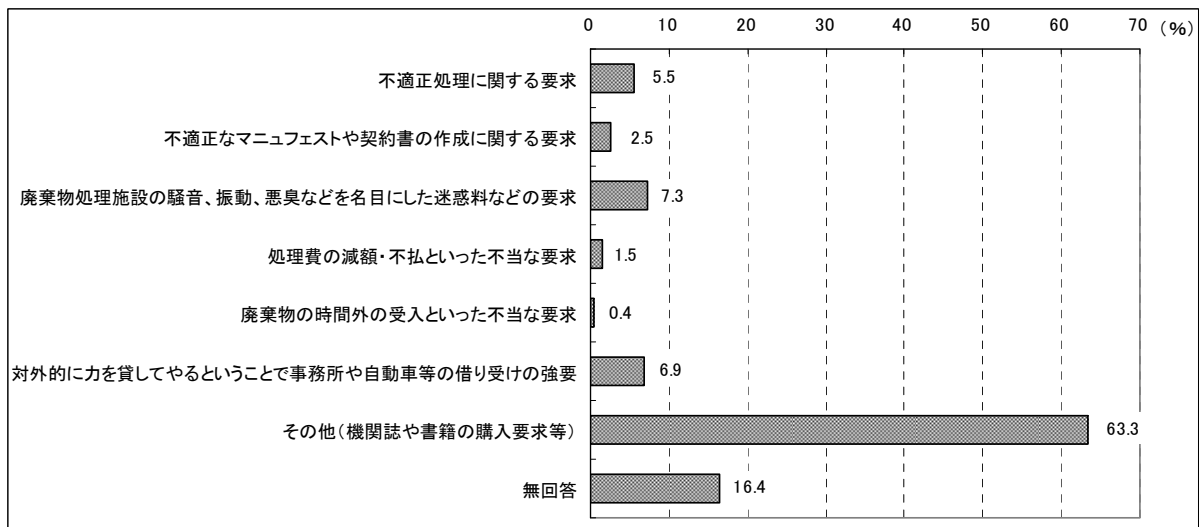
複数回答、n=127、有効回答率 97.6%



④不当要求の内容

「不当要求を受けたことがある」との回答者に、不当要求の内容について尋ねたところ、「機関誌や書籍の購入要求等」が大半を占めている。

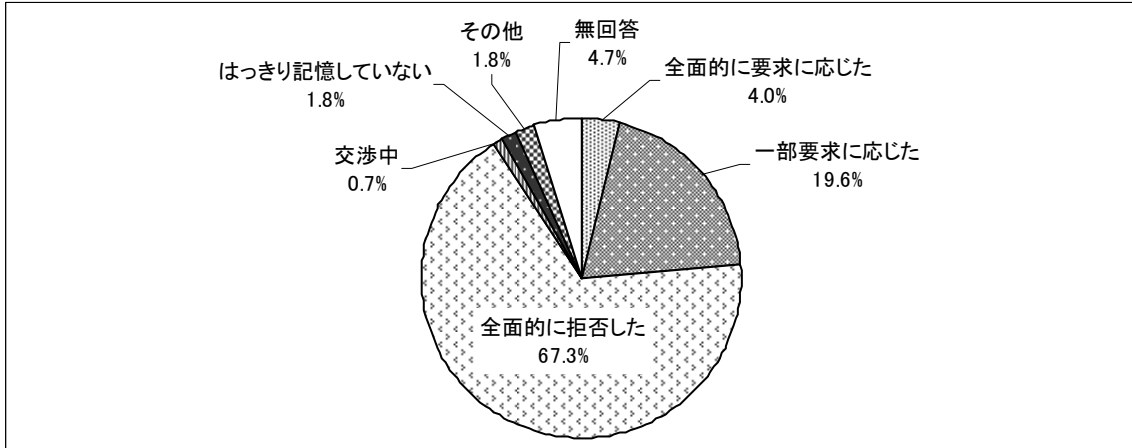
複数回答、n=275、有効回答率 83.6%



⑤ 不当要求された時の対応

「不当要求を受けたことがある」との回答者に、不当要求された時に回答者がどのように対応したかを尋ねたところ、「全面的に拒否した」との回答が約67%と多くを占めている。

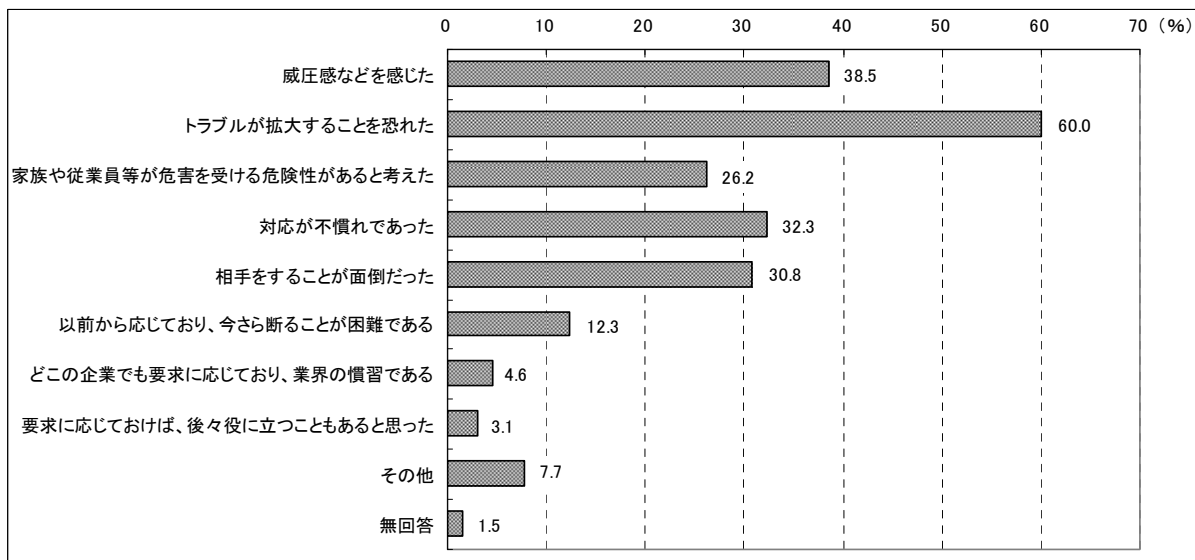
n=275、有効回答率 95.3%



⑥ 不当要求に応じた理由

不当要求された時に「全面的に要求に応じた」または「一部要求に応じた」との回答者に、不当要求に応じた理由を尋ねたところ、「トラブルが拡大することを恐れた」との回答が6割と最も多くを占めている。

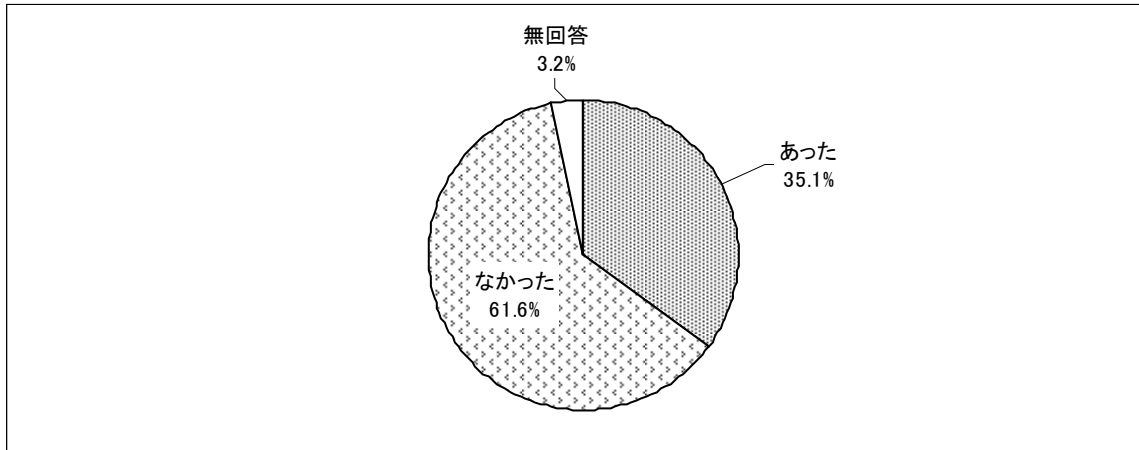
複数回答、n=65、有効回答率 98.5%



⑦不当要求を全面的に拒否した際の嫌がらせの有無

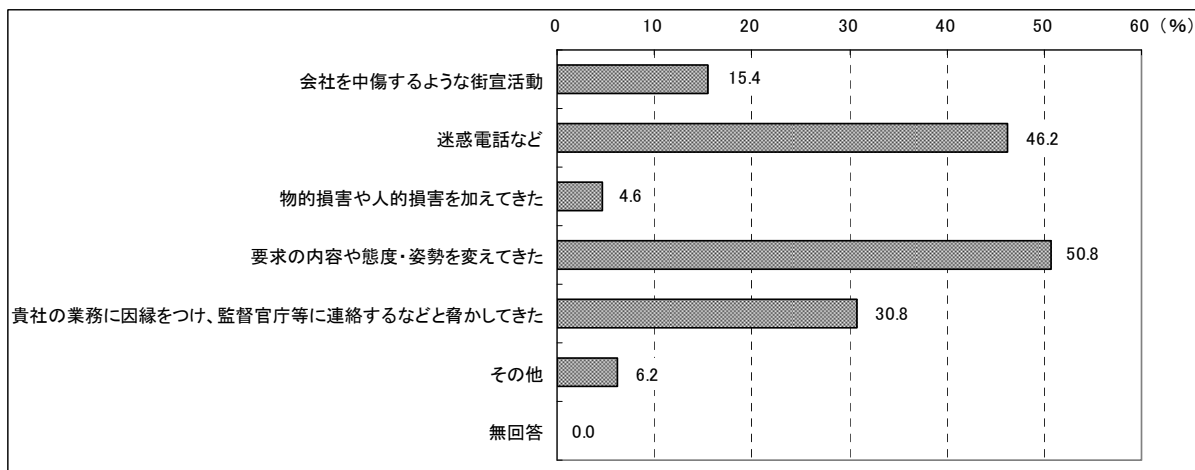
不当要求された時に「全面的に拒否した」との回答者に、拒否した際に相手方から何らかの嫌がらせがあったかどうかを尋ねたところ、「あった」との回答が約35%を占めている。

n=185、有効回答率 96.8%



前記の設問で、「全面的に拒否した際に何らかの嫌がらせがあった」との回答者に、具体的にどのような嫌がらせだったかを尋ねたところ、「要求の内容や態度・姿勢を変えてきた」「迷惑電話など」が多くを占めている。

複数回答、n=65、有効回答率 100.0%



⑧今後の対応

不当要求された時に「交渉中」との回答者に、今後どのような対応を考えているかを尋ねたところ、1件は「要求に応じることもやむを得ないと考えている」と回答している。

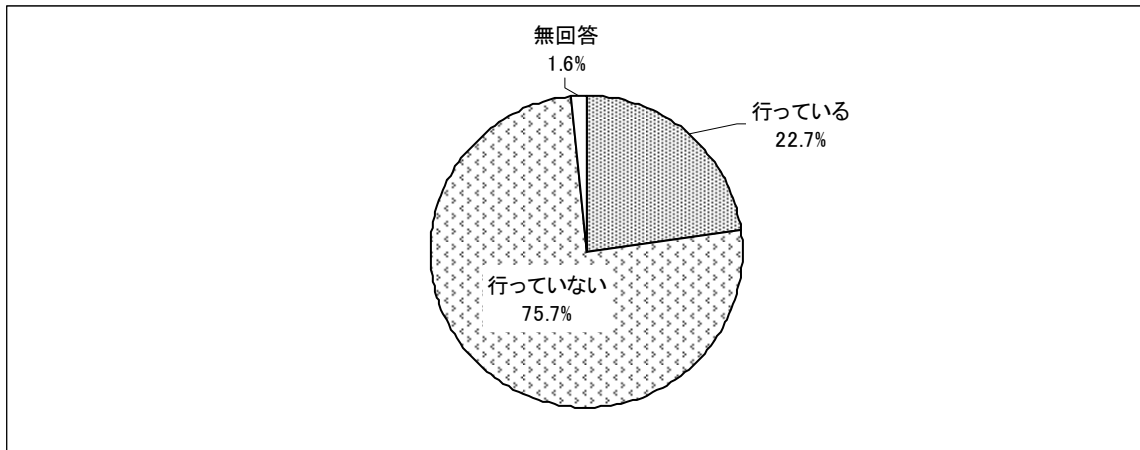
n=2、有効回答率 50.0%

2-4. 暴力団等の反社会的勢力対策の取組

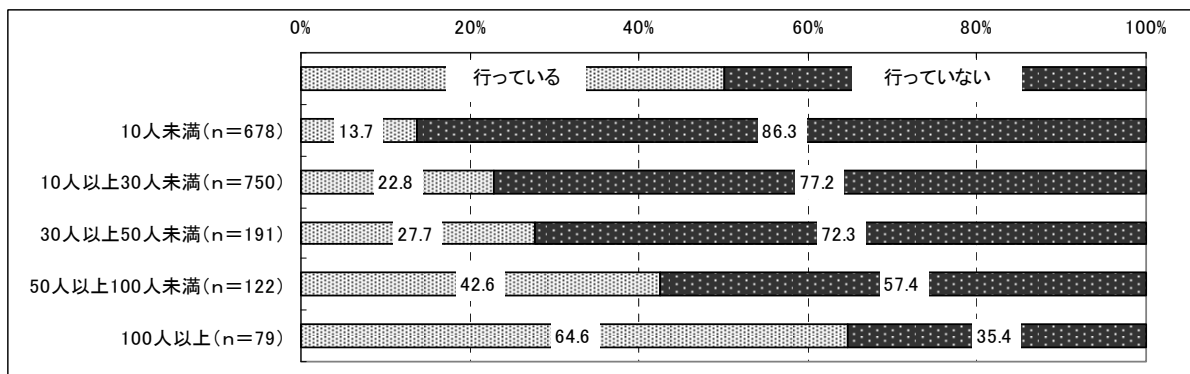
(1) 暴力団等反社会的勢力への取組の有無

全ての回答者に、暴力団等の反社会的勢力への対策として何らかの取組を行っているかを尋ねたところ、「行っている」との回答が約23%を占めている。

N=1850、有効回答率 98.4%



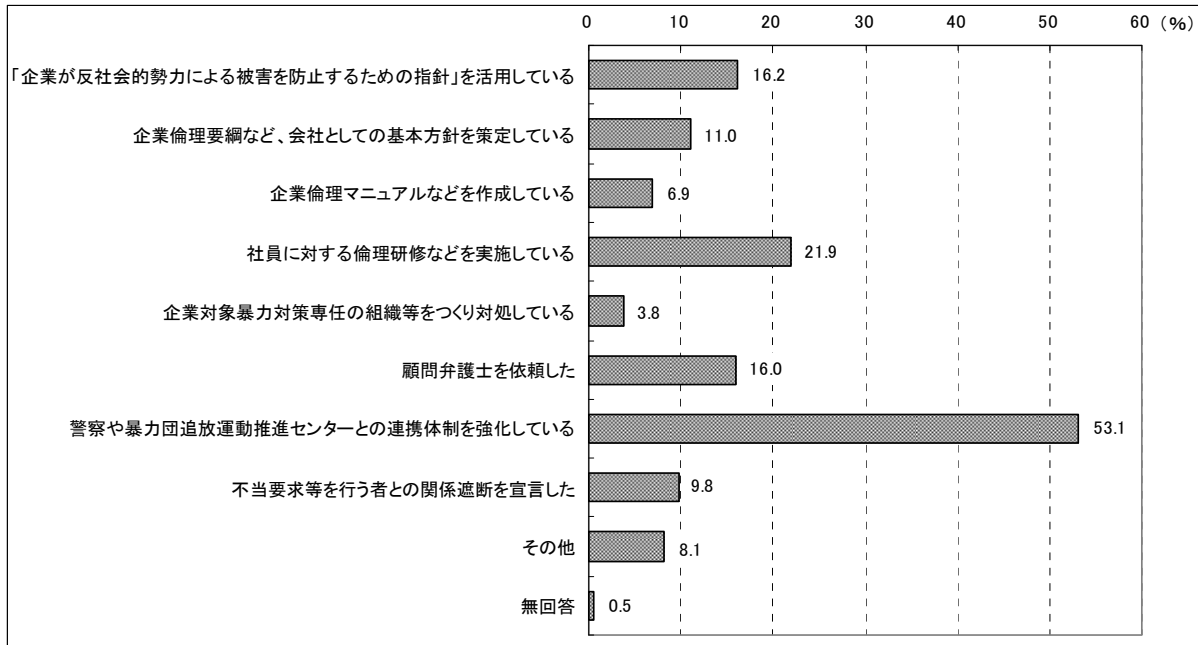
前記の設問について、回答者の組織の規模別に見てみると、従業員数が多い企業ほど「行っている」との回答が多くを占める傾向が強く見られる。



(2) 暴力団等反社会的勢力対策の取組内容

暴力団等反社会的勢力への取組を「行っている」との回答者に、具体的な取組の内容を尋ねたところ、「警察や暴力団追放運動推進センターとの連携体制を強化している」との回答が最も多く半数以上を占めている。

複数回答、n=420、有効回答率 95.5%

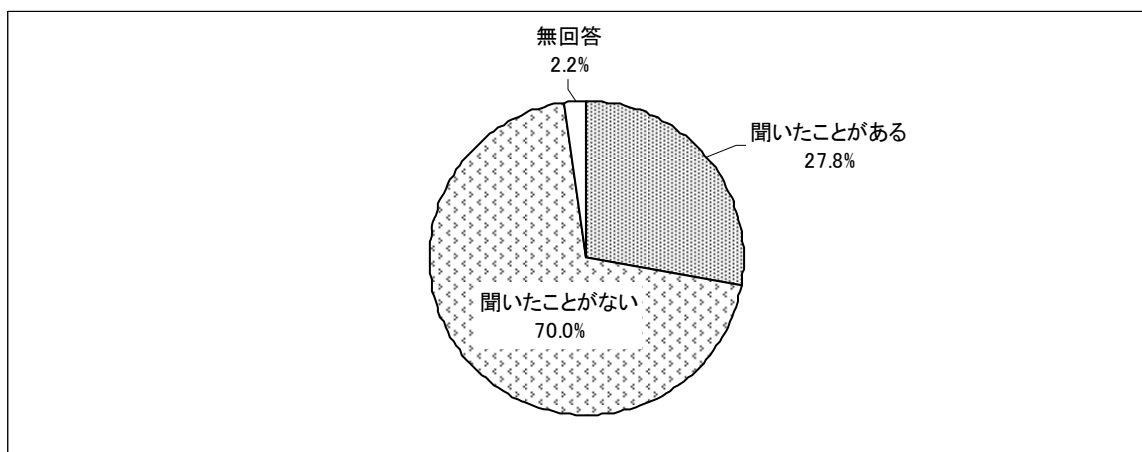


2-5. 廃棄物の不適正処理

(1) 廃棄物の不適正処理を行っている廃棄物処理業者等

全ての回答者に、過去1年間で廃棄物の不適正処理を行っている廃棄物処理業者・無許可業者がいるという話を聞いたことがあるかを尋ねたところ、「聞いたことがある」との回答が約28%を占めている。

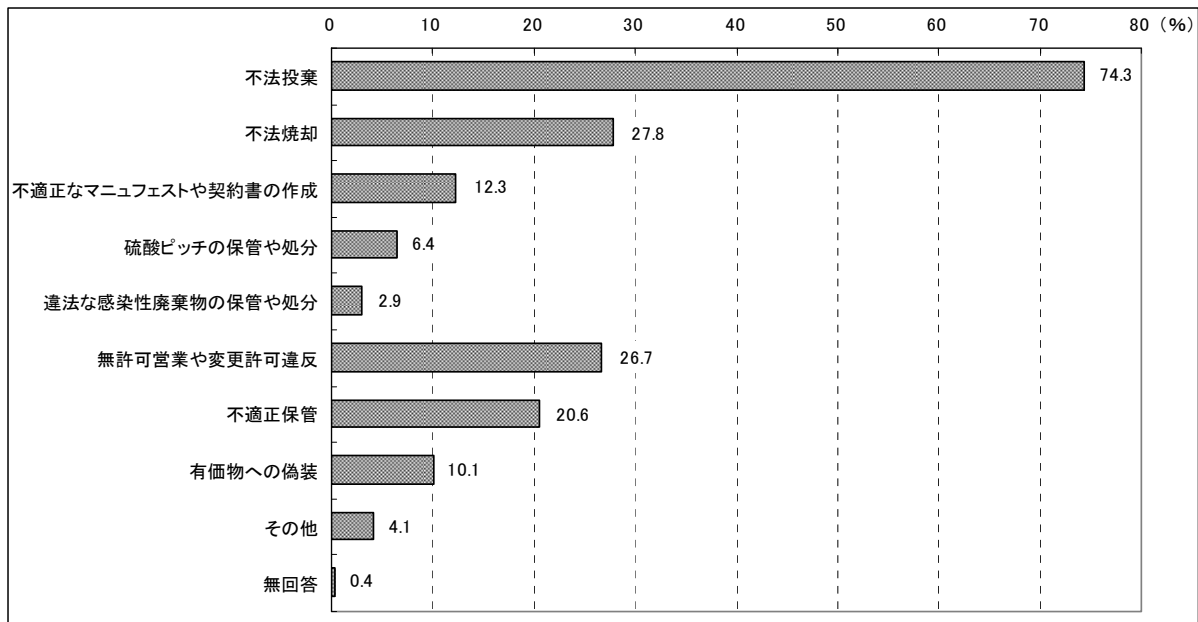
N=1850、有効回答率 97.8%



(2) 廃棄物の不適正処理の内容

廃棄物の不適正処理を行っている廃棄物処理業者・無許可業者がいるという話を「聞いたことがある」との回答者に、具体的な不適正処理の内容を尋ねたところ、「不法投棄」が約74%と最も多くを占めている。

複数回答、n=514、有効回答率 99.6%



(3) 廃棄物の不適正処理と暴力団等反社会的勢力との関わり

全ての回答者に廃棄物の不適正処理に、暴力団等反社会的勢力が関わっているという話を聞いたことがあるかを尋ねたところ、「聞いたことがある」との回答が約9%を占めている。

N=1850、有効回答率 96.5%

